

港町ミュージアム4 学習指導案

- 1 場所：教室
- 2 題材名：好きな作品を見つけよう
- 3 題材について



広島県立美術館は昭和43年に開館、現在約4000点の作品を所蔵している。その中から鑑賞作品を選び鑑賞することは、生涯にわたる鑑賞のきっかけを作ると考える。今後、美術館での団体鑑賞会を計画している。その際、今回提示した作品のいくつかを鑑賞させる。本題材を実物からの感動を味わう基本の体験とさせたい。

鑑賞作品を選ぶにあたっては所蔵作品の内、モチーフが児童にとって身近な作品や物語性(児童が作品に感情移入しやすくその絵にまつわる話や感想が言葉で表現しやすいと考えられる作品)がある作品を選択する。その作品について知りたい時や調べたい時に親しみやすい情報が得られるようワークシート(所蔵作品に関する情報や鑑賞のヒントなどが盛り込まれたカード)がある作品を選択する。

指導に当たっては、作品について自分なりの感じ方や見方を率直に表すことに抵抗感を持つ児童がいることも考えられるので好きな作品を選んで鑑賞させることで鑑賞意欲を高めさせたい。自分が作者なら、どのような作品名をつけるか考えさせたり、色や形・描き方の特徴など鑑賞の視点を与えて鑑賞を深めたりさせたい。さらに、学習カードに記入させることで自分なりの感じ方や見方ができたという達成感を味わわせたい。


また、選んだ作品についての説明をクイズ形式で紹介し合うことで友だちの感じ方や見方と自分のそれとを比べ共感させ、作品をじっくり見る力を育てたい。

4 学習目標

- ・好きな作品を見付ける。(1次)
- ・作品に親しみをもち、自分なりの作品名をつけたり感想をもったりする。(1次)
- ・作品の感じ方や見方を友だちと話し合う活動を通して、自分の感じ方や見方を深める。(2次)

5 学習の展開

1次

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物 等
<p>1 提示作品の中から自分が好きな作品を見つけことができる。</p> <p>2 作品を鑑賞して好きなところや上手だなと思うところに視点を当てて鑑賞する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>選んだ作品のことを友だちに教えてあげよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに作品の複製を貼り付ける。  <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに記入する。 <p>3 本時のまとめをする。次時の学習内容を知る。</p>	<p>自分なりの感じ方や見方ができるように作品の複製のみを提示し、作品に関する情報は提示しない。</p> <p>学習活動を「ようこそミニ広島県立美術館へ」と名付け、鑑賞に対する期待感が高まるようにする。</p> <p>机間指導しながらや色や形、構図、モチーフなどの鑑賞の視点をアドバイスし、その作品を選んだ理由やその作品が好きな理由を考えられるようにする。</p> <p>◆ 感じたことを言葉で表現しにくい児童には「どこが好きか」「どうしてか」など教師とのやり取りを通して鑑賞を進められるようにする。教師は「よく気づいたね」と肯定的に認めるように努める。</p> <p>次時は各自が書いた鑑賞カードをもとにクイズ形式でお互いの見方や感じ方を共有し合うことを知らせて期待感を持たせる。</p>	<p>鑑賞したい作品を選ぶことができる。(鑑賞の能力)</p> <p>作品の色や形に関心をもってみる。[造形への関心・意欲・態度(行動観察)](学習カード)</p> <p>感じたこと思ったことを言葉で書く。[鑑賞の能力](学習カード)(発表)</p>	<p>広島県立美術館の所蔵作品の複製 学習カード</p>

2次

学習活動	指導上の留意事項() (「努力を要する」と判断した児童への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)	準備物等
<p>1 前時に書いた鑑賞カードの内容を聞き、どの作品について書いたものか考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">友だちがどの絵の説明をしているのか考えよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐藤太清「東大寺暮雪」の色や筆使いに関する出題。 ・ 田中万吉「南仏かご全景」草に使われている色から出題。 ・ 塩出英雄「清泉」を石の形から出題。 ・ 菅井汲「Soleil Bleu」、児玉希望「猿猴捉月」から考えた物語をもとに出題 <p>2 本時のまとめをする。</p>	<p>前時に児童が書いた鑑賞カードの中から色や形に視点を当てて書いた内容や絵から思い浮かんだ物語を書いたものをクイズ形式で出題しどの作品について書いているか考えさせる。</p> <p>色の感じや形、光、線描の仕方が似ている作品の複製を数枚ずつ黒板に掲示する。また、ヒントは少しずつ話し、他の掲示作品とじっくりと比較鑑賞できるようにする。</p> <p>友だちの話を聞いて気づいたことを発表し合う。</p>	<p>作品の色や形に関心をもってみる。[造形への関心・意欲・態度][鑑賞の能力](行動観察)(発表)</p>	<p>広島県立美術館の所蔵作品の複製</p>

港町ミュージアム4 広島県立美術館所蔵の提示作品一覧

(ここに紹介した作品は県立美術館にワークシートがあります。)

ワークシート：作品の情報や鑑賞の視点などが盛り込まれた広島県立美術館作成の子ども向けの鑑賞カード

種別	作者	作品名	作品を選択した理由
1 水彩	巖光	畠山雅介氏の像	線の表現力と水彩絵の具の柔らかい色使いで画面の中の人物がまるで生きているように感じられる作品。表現のよさを自分の表現に生かせる。
2 工芸	インド	更紗	色や模様織り成す幾何学的な面白さやアジア的な要素、物語性を感じ取れる。
3 日本画	金島桂華	冬瓜	身近なものを題材にしていることや蔓が勢よく伸びている様子や冬瓜の質感の描き方を表現に生かせる。
4 日本画	児玉希望	猿猴捉月	たくさん集まっているサルの様子や月などの背景の描写など物語性がある作品。
5 日本画	児玉希望	浅春	画面上部の針葉樹林の緻密で暗い描写と手前の川や白梅の明るさの対比が早春への躍動感を感じさせる。季節感や緻密な表現を感じ取れる。
6 日本画	森谷南人子	初春閑村	物語性がある作品。長閑な春の一日が丁寧に描かれた筆致や色使いから感じ取れる。
7 日本画	奥田元宋	嶽	画面からはみ出んばかりに続く岩山の迫力が表現のよさから感じ取れる。
8 日本画	佐藤太清	東大寺暮雪	画面左下の燈明の温かさと深々と降る雪から感じ取れる冷えとの対比に臨場感がある。画面いっぱい描かれた堂々とした構図が表現に生かせる。
9 日本画	奥田元宋	秋巒真如	微妙に異なる赤紅色を丁寧に塗り重ね、森とその上下に描かれた夜空と湖面が奥深く静謐な風景を巧みに表現している。作者のこの風景への深い思いまで感じ取れる。
10 日本画	塩出英雄	春山	この景色の中に自分があるような心地よさを感じ取れる。緑色の豊かな色使い、円形と近景の描き方の違い、効果的に描画された桜の木など表現のよさを感じ取れる。
11 日本画	横山大観	井筒	同年代の子どもをモチーフに描いていて児童にとって感情移入がしやすく物語性のある作品。背景描写や2人の子どもの描き方を今後の作品に生かすことができる。
12 日本画	塩出英雄	双鳩	生き生きとした緑で描かれた竹林と2羽の鳩のくつろぐ様子の表現のよさを感じ取れる。
13 日本画	塩出英雄	清泉	庭石の形や色、並び方や周りの景色、華やかな色の着物がひととき目を引く女性など、描き方のよさをいろいろな角度から感じ取れる。
14 日本画	大村廣陽	藤の花かげ	物語性のある作品。確かな描写力による鹿や藤、遠近の描き方の違いを感じ取れる。
15 日本画	奥田元宋	待月	その場にいる気分になり、そのよさを感じ取れる。表現に生かせる筆使いや色使い。
16 日本画	和田節二	村の子供	背景を描かず人物をはっきりとした形で描く手法により人物への感情移入しやすく、鑑賞の視点が得やすい。服装の細部にまでこだわり描画対象に愛情を感じられる作者の気持ちも感じ取れる。
17 日本画	和田節二	秋日和	長閑な秋の日を子牛の和んだ様子や温かい色使いの脱穀機でうまく表現している。
18 日本画	和田節二	仔牛誕生	背景を描かず、子牛とそれに手を差し伸べる女性。誕生したばかりの仔牛に愛情ある一言を語りかける声が聞こえてきそうな作品。ほのぼのとしたあたたかさが感じ取れる。
19 日本画	望月玉蟾	松下猛虎図	画面から飛び出してきたようなトラの躍動感や余白の風景や色彩までも感じ取れる。
20 日本画	片山牧羊	おぼろ	緻密で生き生きとした描写で語り合っているように見える3頭のきつねと情景描写のよさを感じ取れる。
21 日本画	善鳩人	薄明	奥深く続く森の様子を樹木の形の重なりや微妙な色の違いなどで表現していることが感じ取れる作品。物語を考えることでフクロウの表現のよさを感じ取ることができる。

22	日本画	水谷愛子	裕太と亮ちゃん	物語性がある。モチーフや背景からほのぼの感やめりはりのある構図や色使いのよさ、人物のデッサン力を感じ取れる。
23	日本画	橋本雅邦	風神雷神	児童になじみのあるモチーフ。曲線を生かした大胆で画面の外まで想像を膨らませることが可能な広がりのある構図、風神雷神の躍動感を感じ取れる。
24	日本画	平山郁夫	家路	物語性がある。人物表現のよさや統一性のある色使いが醸し出す雰囲気を感じ取れる。
25	日本画	土田麦僊	早春図	点や線の軽やかな組み合わせで長閑でゆったりと広がる農村の風景をうまく描いている。表現に生かせる造形上の特徴が豊富な作品。
26	日本画	岸竹堂	月下狸図	物語性がある。狸の表情や背景を墨の濃淡を使ってうまく描いていることが感じ取れる。
27	日本画	奥田元宋	青山白雲	奥深い森の中にいるような気分させる臨場感を造形要素に視点を当てて感じ取れる。
28	日本画	速水御舟	隠岐の海	画面の下半分以上を海が占める構図は日本海の壮大な広がりを想起させる。人々の生活の様子が伝わる。瓦や海の波の細部にこだわった筆致は表現の参考になる。
29	日本画	竹内栖鳳	城址	象徴的な形をとらえ城門と城壁を描くことで周りの景色をわずかに淡い色を交えた墨画で漠然とした形で描いている。描く対象や描き方によって伝わることを感じ取れる。
30	日本画	川端玉章	ナイアガラ瀑布図	まるで自分がそこに立っているような臨場感のある作品。どのような風景なのか。なぜ、それが伝わってくるのか造形要素から感じ取れる作品。
31	油彩画	木村武男	海の記録	描かれているものから、さまざまなイメージを広げることが可能な作品。自由な感じ方や見方ができることを体験できる。
32	油彩画	小林和作	春の山	色使いの美しさや構図の躍動感から、早春の風景の様子を想像できる。
34	油彩画	田中万吉	南仏カーニユ全景	この作品から町並の様子を想像できる。遠景と近景の描写の違いや構図のおもしろさを感じ取れる。
35	油彩画	太田忠	雪景	画面全体から伝わる温かさや雪の色使いの意外性、山の形のおもしろさ、筆致の工夫など画面の中にあるつもりで感じ取れる。
36	油彩画	小林千古	ミルクメイド	大地を歩くミルクメイドの姿からテーマや作品の力強さの理由を感じ取れる。
37	油彩画	山口長男	象形	黒地に赤のみを使って描かれた形が「何を表しているのだろう」と興味を惹くとともに、今にも動き出しそうな感がある。円、四角、直線は児童にとって描画可能な形で「自分たちも似たような作品を描きたい」という気持ちにさせる。
38	油彩画	山路商	犬とかたつむり	犬もかたつむりも身近な動物。それが現実にはない大きさの対比で描かれているのがおもしろい。一度塗った絵の具を部分的に削り取る彩色方法が画面に独特の風合を引き出していることが感じ取れる。
39	油彩画	巖光	窓辺の花(百合)	窓辺に描かれた百合の形や色、構図からイメージを広げることができる作品。
40	油彩画	高橋秀	海	海は児童にとって、身近なモチーフ。画面下のコンクリートの質感と上部の海や空を思い浮かばせる青の組み合わせがシンプルかつ力強い新鮮な組み合わせ。
41	油彩画	長谷川利幸	田端変電所	構図のおもしろさ、大胆な色使いと筆致の勢いを感じ取れる。
42	油彩画	新海覚雄	抽象	描いてあるもの、いろいろな形、色と形の組み合わせを見つける楽しさを感じ取ることができるリズム感のある作品。
28	油彩画	和田三造	風景	明暗がはっきりした色使いで画面から降り注ぐ日光を感じることができる。目には見えない光を巧みに表現している。描かれた人々からその生活を想像することができる。
43	油彩画	ライオネル・ファイニンガー	海辺の夕暮れ	風景の一部をパズルのように切り取ってつなぎ合わせたような画面構成のおもしろさや色使いの工夫や画面全体から受ける静寂感を感じ取れる。
44	油彩画	南薫造	坐せる女	物思いにふける女性の心情を考えさせることでシンプルながらも深みのある背景、黒と白の対比のよさ、構図の巧みさなどの造形上の特徴に視点を当てさせることができる。
45	油彩画	東郷青児	テラス	すっきりとした構図でモダンな雰囲気のする女性が描かれている。服装や背景の色などの造形要素から女性の心情を想像させることができる。
46	油彩画	アレキサンダー・カール	静物	身近な対象をはっきりした形と色で描画。静かで不思議な雰囲気を感じ取れる。
47	油彩画	ベン・ニコルソン	1933(絵画)	黒・白・赤のバランス、生きているかのような線の躍動感、板材の質感を感じ取れる。「こんな自由な線や形で自分も描きたい。描けそう。」という意欲を育てる事ができる作品。
48	油彩画	菅井汲	月に旅立つ鬼	直線と曲線、色と色のバランスのとれた組み合わせとインパクト。単純な形から思い浮かぶイメージを感じ取れる作品。
49	アクリル	菅井汲	Soleil Bleu	単純化された形やはっきりした色使い。イメージを広げることができる作品。
50	版画	ジョアン・ミロ	スペインを救え	はっきりとした色使いや強調し、単純化した形はインパクトが大きいことを感じ取れる。
51	版画	水船六洲	朱い実	多色木版。黒を基調としながら明るくリズムカルな色や形のおもしろさを感じ取れる。
52	版画	水船六洲	かもめとランプ	黒を基調とし、作品名にあるかもめとランプを緑色で線描している。右下の多色刷りがリズムカルな雰囲気をかもし出している。色や形のバランスのおもしろさを感じ取れる。
53	版画	吉田博	帆船連作	同一の版を使って絵の具を換えて時間や情景の変化を表現している。作品から受ける感じが色使いによって違うことのおもしろさが伝わる作品。
54	水彩画	中西利雄	婦人像	モデルの女性の心情を想像できる作品。児童に馴染み深い水彩画。
55	水彩画	南薫造	うしろむき	児童に馴染み深い水彩画。濃淡を利用した色使いや女の子のポーズに物語性がある。
56	水彩画	ハウル・クレ	ある音楽家のための楽譜	メロディが聞こえてきそうな作品。形や線を抽象化することで伝わるのが感じ取れる。

港町ミュージアム

見よう!感じよう!

～すてきなアート～

年 組 []

Part4 自分が好きな絵と話そう

自分がタイトルをつけるとしたら

好きな場所に
作品の複製
カードを
貼ります。

先生から

Blank rectangular box for teacher's message.

港町ミュージアム4 クイズ問題例(授業細案)

C	前時の学習カードをミュージアムブックにファイリングする。(どの絵を選んでいるかは友だちには教えずに)
T	今日はクイズをしながら勉強します。(学習カード配布) みんなが選んだ絵の中から10枚選びました。この10枚の中からクイズを出します。 (使用作品：児玉希望「猿猴捉月」、バン・ニコルソン「1933(絵画)」、田中万吉「南仏カーニョ全景」、菅井汲「SOLEILU BLEU(青い太陽)」、児玉希望「浅春」、佐藤太清「東大寺暮雪」、新海覚雄「抽象」、塩出英雄「春山」、塩出英雄「清泉」、和田三造「風景(パリ)」(複製を掲示) 作品名は選んだ人がつけた作品名です。自分ならどんな作品名にするか。また、この前の時間のキーワード「色や形の様子」はどうか、考えながらみてください。 作品名が書いてない絵はどんな作品名にしたらいいかも考えながらみてください。
C	(本時の課題を知る)[クイズを解きながら色や形、お話作りに視点をあてて鑑賞する] 「抽象」「東大寺暮雪」のタイトルを考えて発表する。
T	それでは、第一問 色に関係した問題です。 が黒で塗ってあるけれど、ただの黒ではありません。... 黒色がポイントになっている絵はどれですか。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暑い夏の日「風景(パリ)」.....川の色が黒っぽいけど黒じゃない所もあるよ。点々で塗ってあるところが工夫してある。 ・ 自然第一の場所「浅春」.....山の中のほうが黒いけどその前に別の色で木が描いてある。 ・ なぞの白い線「絵画(1933)」.....全部黒じゃなくてかすれたみたいに白い所がある。なんか水が足りん時になるみたい。 ・ 「東大寺暮雪」.....黒というより灰色みたいな感じがするよ。
T	問題の続きをいうよ。 は光がこぼれてくるみたいにふんわりと描いてあります。
C	「東大寺暮雪」の下の方がそんな感じがします。 「暑い夏の日」の空のほうที่そんな感じがします。
T	絵の説明を書いた人へ書いた文を読んでもらうので、どの絵の説明か当ててください。
C	《「東大寺暮雪」の説明を書いた児童A》お寺みたいなものの上の描き方が細かいです。柱が黒く塗ってあるように見えるけど、茶色で塗ってある。下の廊下、階段にうっすら手すりがあります。下のまどみたいなのは、光がこぼれてくるみたいな感じでふんわり描いてあります。
C	「東大寺暮雪」のことだ。
T	Aさんは色の使い方以外にも、筆の使い方とか描いてあるものの形とかよく見ていましたね。
T	第二問 同じく色問題です。 が本当の自然のようで上手です。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然第一の場所! ・ 「たてもものいっぱい町」「池に向かっている女の人」も尾が自然の所があるよ。
T	続きをいうよ。 は緑、茶色、黄土色、こげ茶色、オレンジ色いろいろな色を使っているのが好きです。
C	やっぱり「自然第一の場所」のことだ。
T	どうかな? それではBさん(「南仏カーニョ全景」の鑑賞文を書いた児童)読んでください。
C	(B児)好きなところは、家がいっぱいあるところです。上手な所は草や木が自然のようで上手です。草は茶色、黄土色、こげ茶色、オレンジ色いろいろな色を使っているのが好きです。きれいな所は大きい家のある木です。
C	正解は「たてもものいっぱい町」!
T	Bさんは自分の好きなところもしっかり説明しているのがいいです。それから、家の前の木が後るの色や描き方が違う所をよく見つけたね。

T	今までの2問は色問題でした。次の問題は何問題かな？(問) 形問題 です。 第三問 の形も全部いっしょじゃなくて、細長だったり、丸だったりいろいろな形で工夫してあっていいです。
C	「なぞの線」です！線でいろいろな形が書いてあるから・・・
T	他に面白い形で描いてある絵はないですか。
C	・「池に向かっている女の人」の石の形 ・「抽象」の中に描いてあるものの形も面白い
T	それではCさん(「清泉」の鑑賞文を書いた児童)読んでください。Cさんは形だけでなく色もよく見ているからそこもよく聞いてね。
C	(C児)葉っぱの色を濃い緑や黄緑などを重ねて塗っている所がすきです。石の形も全部いっしょじゃなくて細長だったり、丸だったりいろいろな形で工夫してあっていいです。正解は「池に向かっている女の人」です。
T	第三問は形問題でした。 第四問はお話作り問題 です。色や形をみるだけではなくてお話を考えた人がいるのがすごいですね。(「お話作り」と板書) それでは、問題です。 の集団が何かをのぞいているみたいで面白いです。描いてないところにもいっぱいいるように感じさせます。
C	「さる、落ち着く水面」です。さるがいっぱいいるし、周りにもいるような感じがします。
T	それでは、Dさん(「SOLEILU BLEU(青い太陽)」の鑑賞文を書いた児童)読んでください。
C	(D児)丸が後ろにもいっぱいあるような感じがします。全体が明るい絵です。丸の集団が何かをのぞいているみたいでおもしろいです。洋風の絵です。描いてないところにもいっぱいいるように感じさせるところです。
C	「半分だけ見える丸の集団」です！
T	Dさんは自分の作ったお話と絵にぴったりの作品名にしています。絵をお話をつくりながらみると楽しいね。
T	自分が描いた絵の説明してくれる人は発表してください。みなさんは、聞いた後にどの絵の説明か答えてね。
C	(「浅春」の鑑賞文)ここの場所は自然の場所だとよくわかります。木が本物みたいで色は真緑もあるし、茶色の濃い色も有るし、こげ茶色の濃いのもあります。 (「静物」の鑑賞文)なんか黒の所と黒じゃない所がちゃんと分けて塗ってあってすごい。黒の色がただの黒じゃなくてちょっと白を混ぜたような感じでどうやってぬったのかな？と思う。なんかまわりが暗いけど、中には赤や黄色の明るい色があるから面白い枝と思った。 (「風景」の鑑賞文)川の水がきれいです。マンションみたいな所が太陽の光をさえぎっている。 (「春山」の鑑賞文)桜の木が1本1本ずつ違う色を使っていてさわやかな色も使っているからとても上手だとおもいます。山の形が本当のように私は思います。 (「1933(絵画)」の鑑賞文)線がいっぱいあって何の線かと思ってこの絵を取りました。 やや...や やたくさんあるから・・・ (「猿猴捉月」の鑑賞文)月としゃべっているみたい。小さい猿がにこっとしている絵が何となくポイントのような気がしました。1匹のさるだけこっちをみつめて、なんかつらい時になぐさめてくれそうでこの絵が気に入りました。とくに特徴はない色に見えますが、あります。ちゃんとあります。木の色が月に光った白っぽいところです。
T	今日の友だちの説明を聞いて「ふーんなるほど」と思ったことを言ってください。
T	(次時予告)最後にこの作品(これは絵ではなくて彫刻といいます)(作品名はふせて置く「目覚め」)で勉強します。この写真をじっくりと見てください。(20秒)この作品と同じ形のポーズをとるとしたらどんなポーズ？今日はそのポーズをして終わらしましょう。